



インターネット・リテラシーを身につけよう

小学校
4～6年生
対象

授業の ねらい

身近な事例を通じて、インターネット等のメディアの特性（公開性、伝播性、永続性、伝達容易性、等）や利用上の注意点を学びます。

具体的には、映り込みの事例（事例1）を通じて、表現の自由とプライバシーの概念を、インターネット上の書き込みを比較する事例（事例2）を通じて情報の信用性の評価方法を、ワンクリック詐欺の事例（事例3）を通じて消費者被害を、いわゆる漫画等のネタバレサイトの事例（事例4）を通じて著作権の概念を、それぞれ学びます。



あらすじ

事例1は、動画の中に住所氏名や個人の機微に触れる事項が映り込んでいる事例を通じて、インターネットにおける表現の自由とプライバシーについて考えます。

事例2は、うさぎの餌に関する3つの書き込みの比較を通じて、インターネット上の情報の信用性を考えます。

事例3は、インターネット上のハイパーリンクをクリックしてページを開いたところ、高額請求をされるページに切り替わってしまった事例を通じて、対処法を考えるものです。

事例4は、インターネット上に、著名な漫画の未発売の最新号が掲載されている事例を通じて、他人の創作物についての利用上の注意点を考えます。

授業の詳細

対象： 小学校4～6年生
授業時間： 45分×1～2コマ
弁護士の人数： 1～3人
(1クラスあたり)